

《別紙》

1. 開催年月日 令和7年11月17日(月)開催
2. 開催場所 ビストロ ガメイ
東京都西東京市田無町4丁目16-1
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 6名 下川隆委員長 松川紀代実委員 野澤秀夫委員
賀陽智之委員 小松真弓委員 村田志保委員
欠席委員 1名 山本恒安委員
(事前に意見書提出あり)

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室) 飯島千ひろ(制作室)
高橋絵里(制作室)

4. 議題

審議番組 : セルクルへようこそ! 毎週火曜日 夜21時30分~ 30分番組まちテナスタジオより生放送

中央線東小金井駅から徒歩10分、カフェ&バーセルクルにゲストをお迎えしてお送りする
トーク番組。人と人の繋がり、『縁』をメインテーマにお話を展開していきます。

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・ 出演者の“つながり”や温かい雰囲気はしっかり伝わってくる。
- ・ カフェの空気感が良く、自然なトークで聞きやすい部分もあった。
- ・ 一方で、ゲストの自己紹介が少ないため、誰が誰か分かりにくいとの指摘。
- ・ ゲスト複数回出演時は、冒頭で参加者のきっかけ・立場を整理して紹介すると入りやすい。
- ・ 特に進行役の金子さんが名前を添えて質問していた点は良かった。
- ・ 地域食堂(子ども食堂ではなく“地域交流の場”)としての意義がよく伝わった。
- ・ 子どもや地域の抱える課題が“表情の裏側”にあるという指摘が印象的。
- ・ 専門家(中山先生など)が具体的で深い話をしており、番組として質が高い。
- ・ 野菜テーマ、江戸東京の地理的背景、年代差の視点など、多様な切り口が興味深い。
- ・ 1日目の音声は特に聞き取りづらい(マイク位置、向き、環境音の影響)。
- ・ 声の区別がつきにくい箇所がある。
- ・ 救急車・車の音など外部音が目立つ場面があった。
- ・ 環境音を味として残すか、停止して録り直すか、今後のバランス検討が必要。
- ・ 発言の割り振りが分かりづらい場面あり → 1人ずつの発言を丁寧に整理すると改善可能。
- ・ 全体として丁寧で問題なし。
- ・ 地域の人々が自信を持って話している点が評価された。
- ・ 地域で活動する人の温かさが伝わり、聴いていて安心感がある。
- ・ “昭和の食堂”のように、交流・見守り・情報共有の場として期待できる。
- ・ 地域社会の顔が見える良い番組との評価。
- ・ 毎週火曜日放送で継続されていることに好印象。
- ・ 今後も改善しながらより良い番組にしてほしい。

局の回答

「円（縁）を広げる」というテーマで、人と人をつなぐ場所＝セレクトから発信する番組。ゲストは“番組のための出演者”というより、実際にお店に集まるお客さん達という位置づけ。小金井市・西東京市との新たなつながりに触れながら、リスナーもその“円”の一員に入ってほしいという願いがある。

誰が話しているのか分かりにくい場面があり、
→「〇〇さん、いかがですか？」と名前を添えて進行すると改善できそう。
録り直しの判断や、環境音への対応など、今後の改善余地がある。
本来は1名出演予定だったが、地域食堂「アグリ食堂」立ち上げメンバー全員（4名）に話を聞きたいという意向で急遽増員。
その結果、音声配置が難しくなり、聞き取りづらさの要因にもなった。
メインパーソナリティの金子さんが、実は以前、大塚局長の制作した番組に出演していたことが判明。
鶴宮（縁結びの神社）とも関連し、
「縁を大事にしようとしていると、不思議と繋がりが生まれていく」と感じた出来事として語られた。
音質改善：環境音が入ったら一時停止して録り直すなどの工夫。
ただし「町の音を含めた“現場感”も魅力」とする声もあり、
こだわりと自然さのバランスを考えていく。
今後ゲスト意見も聞きつつ、より聞きやすく、温かみのある番組作りを目指す。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項
なし